

第237回 ギャラリー展

なつかしい少年期



石碕研二 作品展

平成29年6月12日～7月8日まで

梅雨宣言。イヤなイメージ、ジメジメ雨の季節に突入と思ったら清々しい晴れ模様が続いています。しばらくは晴れ模様が続きそう。

真央ちゃんが引退し、藍ちゃんが引退と花のあるアスリートが次々に引退。

あとは元気な卓球界と将棋の世界に期待しようかな。

政治の世界も言った、言ってない。あった、なかった、の言い放しからスッキリしてもらいたいものです。水戸黄門・遠山金四郎が懐かしく感じます。

第237回ギャラリー展は、石碕研二作品展を開催します。

病院では3年ぶりの作品展となります。

石碕研二さんから久しぶりの音信に病院での展示をおねがいしました。

というのも、ここ数年、大病をわずらい入院生活を送っておられたそうです。

現在は元気になり、しかも絵を描く時間ができたので作品に余裕が生まれてきたとのこと。作品を見せてもらうこととしました。

基本的にはやさしい目線で、子供たちが純粋に楽しく遊んでいる様子が描かれています。作品を一点一点見ているうちにその世界に溶け込んでいる自分に驚きました。

ああ、そうそう、こんなことがいっぱいあったという実体験がよみがえり、懐かしさに繋がるものでした。

いろいろと説明はいらぬ作品群です。明るい色彩と懐かしさ、そして楽しかった思い出が蘇るひとときです。楽しんでいただければ幸いです。